

第2章 がんの診断

～がん診療を行う病院と相談支援センター～



みなかみ町
@piipaako

1 がんと診断されたら

医師のアドバイス：上手な医療機関のかかり方

群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 腫瘍内科学分野 教授
群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター センター長 高張 大亮

がんと診断されると、担当の先生から今後の治療方針について説明があります。

その内容をよく理解できると、次の治療への不安が減り、診療がよりスムーズに進みます。

ここでは、医師の説明を受けるときに知っておくと役立つポイントをお伝えします。

コツ1



できるだけ家族や身近な人と一緒に聞く

ひとりでは緊張したり、説明が頭に入らなかったりすることがあります。

できれば複数人で聞くと、聞き漏れを補い合い、あとで内容を整理できます。

がんと告げられた直後は気持ちが動揺しやすい時期です。支えてくれる人と一緒に聞くことで安心できます。

コツ2



ご高齢の方はお子さんや若い方と一緒に聞く

「子どもには迷惑をかけたくない」と遠慮される方もいますが、身近な家族は心強い味方です。説明の理解を助け、通院や治療のサポートもしやすくなります。

できるだけ都合をつけてもらい、一緒に話を聞いてもらいましょう。

コツ3



説明を聞くときは、あらかじめ時間を取ってもらう

納得するまで話を聞くには、ある程度の時間が必要です。

外来で混み合う時間帯では、医師も十分な時間を確保できない場合があります。

説明の予約をお願いし、落ち着いた環境で話ができるようにしましょう。

コツ4

説明書や資料を持ち帰って読み返す



担当医から説明内容が書かれた資料をもらえることがあります。自宅で落ち着いて読み直すと、新たな疑問に気づくこともあります。わからない点は遠慮せず、看護師や医療スタッフに聞きましょう。最近は説明の場に看護師が同席することも多く、質問しやすい環境が整っています。

コツ5

希望や不安は、ためらわずに伝える



「ほかの医師の意見も聞いてみたい」「別の病院で治療を受けたい」——そう思ったときは、遠慮せずに医療スタッフへ相談してください。患者さん自身が言いにくいときは、家族から伝えても構いません。納得できる治療を受けることが、何より大切です。

コツ6

わからないことはそのままにしない



医師と患者さんの間には、どうしても医療の知識に差があります。疑問を解消することは、安心して治療に向かうための第一歩です。がん治療は「患者さんと医療者が一緒に進めるチームの医療」です。気になることは小さなことでも質問し、納得して治療を選びましょう。

＜腫瘍内科とは＞

群馬大学の腫瘍内科は2024年4月に開設された、がんの薬物療法（抗がん剤・免疫療法・分子標的治療など）やゲノム医療を専門に行う診療科です。

県内のがん医療の質を高め、外科や放射線科など、大学の各診療科および各医療機関との連携や、早期からの緩和ケア・相談支援の充実を他職種によるチーム医療で進めています。また、最新の治療研究や人材育成にも力を入れ、みなさんが安心して治療を受けられる環境づくりを目指しています。

参考情報

がんの診断、治療のために受診される方へ（患者さんやご家族が診療の場で活用できる質問リストを紹介しています）

https://share-communication.jp/qpl_project/forpatient/



2 がんの診断のための検査

●画像診断

群馬大学大学院 医学系研究科放射線診断核医学分野 教授 対馬 義人

体の中を画像化することによって様々な病気の診断を行う技術を「画像診断」または「放射線診断」といいます。がんを発見し、進行の程度を診断して治療方針を決定する際に中心的な役割を務めます。

「放射線診断医」がその役割を担っていますが、裏方仕事ですのでみなさんの前に姿を表すことはあまりありません。X線写真やCTは最も細かいところまで見ることができますが、放射線に被ばくするという欠点があります。MRIや超音波は被ばくの心配はありませんが、がんの種類や場所によっては不向きな場合があります。PETは放射線を出す薬を注射してからその放射線を体外から画像化するものです。あまり細かな部分は見えませんが、がんの転移などを一度に発見するには便利な方法です。「放射線診断」には様々な手法があり、それらの長所短所を勘案しつつ目的によって適切な検査方法を選択しています。



●細胞や組織の検査

群馬大学大学院 医学系研究科病態病理学分野 教授 横尾 英明

がんの検査のうちで最も確実な方法は、がん細胞の存在を直接確認することです。それには大きく2種類の方法があります。

1つは「細胞診」という方法で、がんの塊からはがれた細胞を集めて顕微鏡で観察するものです。例えば、肺がんの細胞は痰の中にはがれ落ちることがしばしばあり、痰を集めて顕微鏡で観察するとその姿を捉えることができます。また、自然にはがれた細胞を見るだけでなく、ヘラや綿棒、注射針のような器具を使って細胞を集める場合もあります。

もう1つは「組織診」あるいは「生検」と呼ばれる方法で、がんの塊を小さく切り取って組織標本（プレパラート）を作成し、顕微鏡で観察するもので、これは数あるがんの検査方法で最も正確とされています。

血液検査（腫瘍マーカー）

群馬県立がんセンター 院長 柳田 康弘

腫瘍マーカーとは、がん細胞やがん細胞に反応した細胞によって特徴的に作られるタンパク質などの物質です。がんの種類によって作られる腫瘍マーカーが異なり、またがんが大きくなって腫瘍細胞の数が増えると産生される腫瘍マーカーも多くなります。しかし、がんがなくても、あるいは炎症や良性腫瘍でも、ある程度産生されます。腫瘍マーカー検査とは、主に血液中や尿中などの腫瘍マーカーの濃度を測定する検査のことをいいます。

この検査の目的は、がんの診断の補助や、治療後の経過、治療の効果をみることです。検診や人間ドック等で腫瘍マーカーが高値を示した場合、がんの存在が疑われます。しかし実際のがんの有無やがんがある場所は、画像検査などその他の検査結果を合わせて、医師の総合的な判断が必要です。また小さながんでは腫瘍マーカーはわずかしか産生されないため、前立腺がんの腫瘍マーカーであるPSAを除いて、早期のがんの発見につながっていません。治療後に腫瘍マーカーが、時間経過とともに再上昇していく場合には、がんの再発を疑って画像診断を行います。転移再発がんにおける治療効果の判断は画像診断を用いて行いますが、腫瘍マーカーは治療効果を良く反映しますので、簡便な目安として用いています。

3 がんの診療を行う病院と相談支援センター

がん診療連携拠点病院 ● 群馬県がん診療連携推進病院

どこに住んでいても、がんの状態に応じて適切ながん医療が受けられるように、国指定の「がん診療連携拠点病院」、県指定の「群馬県がん診療連携推進病院」を整備しています。

また、がん診療連携拠点病院のうち、県のがん診療の質の向上等について、中心的な役割を担う「都道府県がん診療連携拠点病院（原則、各都道府県につき1施設）」に群馬大学医学部附属病院が指定されています。

これらの病院には次のような特徴があります。

①専門的ながん治療が受けられます

手術、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線治療を効果的に組み合わせた、治療（集学的治療）を実施しています。

②無料のがん相談窓口があります

患者さんや家族はもちろん、その病院にかかっていない方でも、がんについて相談することができます。そのほかにも、セカンドオピニオン外来の設置、がんサロンの運営なども行っています。

③緩和ケアが受けられます

がんと診断された時からの緩和ケアの提供体制が整っています。

●がん診療連携拠点病院（国指定）

病 院 名	所在地	電話番号
① 群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111
② 前橋赤十字病院	前橋市朝倉町389-1	027-265-3333
③ 高崎総合医療センター	高崎市高松町36	027-322-5901
④ 渋川医療センター	渋川市白井383	0279-23-1010
⑤ 公立藤岡総合病院	藤岡市中栗須813-1	0274-22-3311
⑥ 公立富岡総合病院	富岡市富岡2073-1	0274-63-2111
⑦ 伊勢崎市民病院	伊勢崎市連取本町12-1	0270-25-5022
⑧ 桐生厚生総合病院	桐生市織姫町6-3	0277-44-7171
⑨ 群馬県立がんセンター	太田市高林西町617-1	0276-38-0771

●群馬県がん診療連携推進病院（県指定）

病 院 名	所在地	電話番号
① 群馬県済生会前橋病院	前橋市上新田町564-1	027-252-6011
② JCHO群馬中央病院	前橋市紅雲町1-7-13	027-221-8165
③ 日高病院	高崎市中尾町886	027-362-6201
④ 原町赤十字病院	吾妻郡東吾妻町原町698	0279-68-2711
⑤ 利根中央病院	沼田市沼須町910-1	0278-22-4321
⑥ 太田記念病院	太田市大島町455-1	0276-55-2200
⑦ 公立館林厚生病院	館林市成島町262-1	0276-72-3140

小児がん連携病院

小児がん連携病院とは、小児がん患者やその家族が慣れ親しんだ地域で安心して適切な医療や支援が受けられるよう、全国で整備が進められている病院です。

本県では、国が指定している小児がん拠点病院（埼玉県立小児医療センター、国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センター、神奈川県立こども医療センター）の連携病院として、2病院が指定されています。

病 院 名	所在地	電話番号
① 群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111
② 群馬県立小児医療センター	渋川市北橋町下箱田779	0279-52-3551

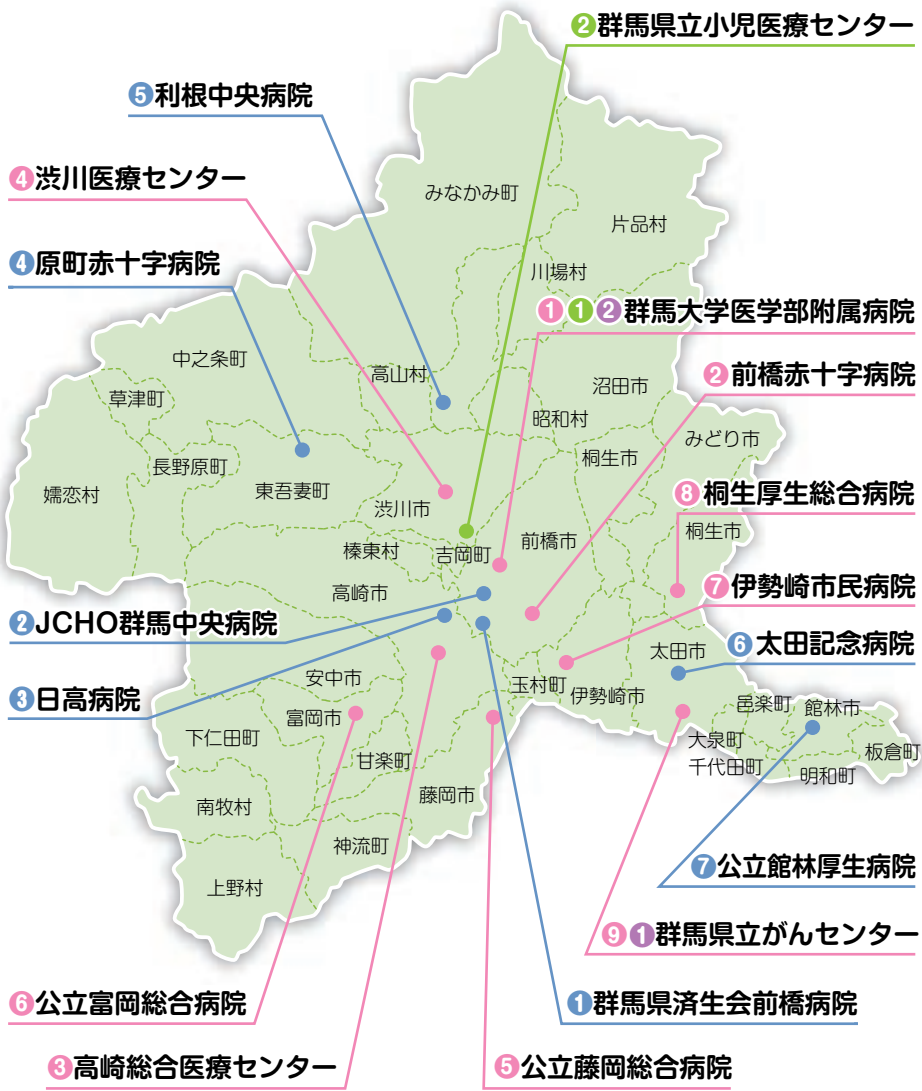
がんゲノム医療連携病院

がんゲノム医療連携病院とは、ゲノム医療を必要とするがん患者が、全国どこにいても、がんゲノム医療を受けられる体制を構築するために、全国で整備が進められている病院です。

本県では、国が指定しているがんゲノム医療中核拠点病院（①国立がん研究センター中央病院、②公益財団法人がん研究会 有明病院）の連携病院として、2病院が指定されています。

病 院 名	所在地	電話番号
① 群馬県立がんセンター	太田市高林西町617-1	0276-38-0771
② 群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111

群馬県におけるがん診療連携拠点病院等の一覧



桃色：がん診療連携拠点病院

緑色：小児がん連携病院

青色：群馬県がん診療連携推進病院

紫色：がんゲノム医療連携病院

相談支援センター

がんと診断された患者さんには、たくさんの不安がつきまといます。治療や生活のこと、就労のことや家族のこと、自分のがんをどう伝えたらいいのかわ、自分のがんとどう向き合っていけばいいのかわ・・・

がん相談支援センターは、そんな悩みや不安を、専門的な知識を持つ相談員（看護師や社会福祉士など）と一緒に考え、情報を探してお手伝いをしています。

相談にかかる費用は無料です。遠慮せずに、ご相談ください。

セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、主治医以外の医師に、診療方針や治療についての意見を聞くことを言い、その意見を参考に、自ら治療方針を選択して決定するためのものです。

セカンドオピニオンは、既に主治医から確定診断を受けたけれども、この治療方針でいいのか悩んでいる人にとって、治療方針を選択する大きな助けになります。

セカンドオピニオンを受けたいときは、事前に主治医や看護師、がん相談支援センターに伝え、セカンドオピニオンを受けたい病院又は医師を選び予約を取りましょう（完全予約制）。主治医に協力してもらい、紹介状や検査データ、セカンドオピニオン申込書などの必要書類を揃え、セカンドオピニオン外来にかかりましょう。

がんサロン

がんのことを気軽に本音で語り合える交流の場です。一人で悩まないで、参加してみませんか。

がん診療連携拠点病院等以外で実施されているがんサロンについては、75ページ～87ページを参照してください。

参考情報

国立がん研究センターがん情報サービスで発行している各種「がんの冊子」、「でんし冊子」、がんの冊子の「音声版」をダウンロードできます。

https://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure/cancer.html



(掲載の一部)

●緩和ケアは、がんと診断されたときから始まります

がんと診断されると落ち込むこともあります。また、診断を受けたときには、すでに痛みや息苦しさなどの症状がある場合もあります。緩和ケアは、そのような落ち込みや症状に対して、がんと診断されたときから始まります。緩和ケアは、がんが進行してから始めるものではありません。がんの治療とともに、つらさを感じるときにはいつでも受けることができます。

あってよかった緩和ケア～緩和ケア体験談マンガ動画～

<https://www.youtube.com/watch?v=SIDjjOb6MZs>





群馬大学医学部附属病院

都道府県がん診療連携拠点病院
小児がん連携病院 がんゲノム医療連携病院

病院からのメッセージ

治療から生活支援まで、がんのことならお気軽にご相談ください。

院長 齋藤 繁

相談支援センター

電話番号	027-220-8782 (直通)
受付時間	平日:8:30~16:30
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	027-220-7733 (直通)
受付時間	平日:13:00~17:00
費用	60分:33,000円(税込)

がんサロン

電話番号	027-220-8782 (直通)
交流会名	なごみサロン
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第2木曜日:13:00~14:30 (8月はお休み)
活動内容	同じ悩みを話したり聴いたり、泣いたり、笑ったり、がん患者さんやご家族が気軽集って話し合える「分かち合い」の場です。年に数回「勉強会」も開催しています。事前の予約は不要です。お気軽にご参加ください。

がん相談支援センター

平日:8:30~16:30

どなたでもご自由にご利用できます。



ひとりで悩まれていることや
気がかりを話してみませんか？
どうぞお気軽にお立ち寄りください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



前橋赤十字病院

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

全診療科が一体となり、最新・最適な医療を提供していきます。

地域がん診療連携拠点センター長 上吉原 光宏

相談支援センター

電話番号	027-265-3333 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士)、 がんに関する専門・認定看護師

セカンドオピニオン

電話番号	027-265-3333 (代表)
受付時間	平日:9:00~17:00 診察は完全予約制です。まずはお電話ください。
費用	30分16,500円(税込) 30分を超えた場合は10分につき5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	027-265-3333 (代表)
交流会名	はーと♥クロス
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月20日(20日が土日の場合はその前の金曜日の開催になります):13:30~15:30
活動内容	がん患者さんやご家族が気軽に本音で「語り合い」「わかちあい」交流ができる場です。どなたでも参加できますのでお気軽にご参加ください。



当院は2018年6月に新築移転し、駐車場も広く利用しやすくなりました。受付や待合スペースでも快適にお過ごしいただけます。



患者支援センター内の様子。奥には完全個室の面談室が10部屋あり、プライバシーにも配慮しています。



患者図書室の様子。がん関連のリーフレットや病気の本もたくさんご用意しています。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



高崎総合医療センター

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

患者さん一人一人に適した、高度で安全な最新の治療を心掛けています。

院長 小川 哲史

相談支援センター

電話番号	027-322-5901 (代表)、027-322-5017 (直通)
受付時間	平日8:30～17:15 (R8.3.31まで) 平日9:00～16:30 (R8.4.1から)
担当	看護師(がん看護専門看護師・認定看護師等)・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	027-322-5901 (代表)
受付時間	平日8:30～17:15 (R8.3.31まで) 平日9:00～16:30 (R8.4.1から) 完全予約制です。相談支援センターにご相談ください。
費用	1回(概ね30分) 11,000円

がんサロン

電話番号	027-322-5901 (代表)
交流会名	ほっとさろん・たかさき
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月10日(10日が土日祝の場合はその前の金曜日の開催になります) 13:30～15:30
活動内容	がん患者さんやご家族の集いの場です。 病気のことや日々の生活のことなどお話しませんか。

がん相談支援センターでは、

- ・今後の検査や治療のこと
- ・治療の副作用のこと
- ・療養生活に関すること
- ・治療と仕事の両立に関すること
- ・治療にかかる費用のこと
- ・在宅医療や介護保険のこと
- ・ゲノム医療のこと
- ・妊育性のこと …など



様々な相談が出来ます。お気軽にご相談ください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



渋川医療センター

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

熟練のスタッフと最新の診療機器で質の高いがん診療を行い、患者さんをやさしく支えます。
院長 高橋 章夫

相談支援センター

電話番号	0279-23-1010 (代表)	
受付時間	平日:8:30~17:15	
担当	医療ソーシャルワーカー・がん関連専門認定看護師	

セカンドオピニオン

電話番号	0279-23-1010 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
費用	30分:5,500円 (税込)

がんサロン

電話番号	0279-23-1010 (代表)	
交流会名	やすらぎ	
対象疾患	がん全般	
開催日時	平日:9:00~17:00	
活動内容	当サロンは常設しており、がんに関する情報が得られるよう各種参考文献の設置、インターネット利用ができます。お気軽にお立ち寄りください。	

がん相談支援センターでは、

『あなたらしい生活』を支えます。患者さんやご家族、地域の方々からがんに関する様々な相談を専門の相談員がお受けしています。ご相談内容によっては、医師や看護外来（専門看護師・認定看護師）等と連携をはかり相談にお応えします。電話での相談も可能です。

がんサロン「やすらぎ」は、

患者さんやご家族がおしゃべりや病室以外での気分転換、病気や療養中の悩みや心配を話し交流ができる場所です。

週2~3日「がんサロンコーディネーター」が在室し、患者さん・ご家族のお話をゆっくりお伺いします。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。




公立藤岡総合病院

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

がんと診断されたら、早めにお気軽にご相談下さい。多職種によるチーム医療を行っています。
病院長 設楽 芳範

相談支援センター

電話番号	0274-22-3311 (代表)	
受付時間	平日:9:00~17:00	
担当	がん関連専門認定看護師・がん専門相談員	

セカンドオピニオン

電話番号	0274-22-3311 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00
費用	30分:5,500円(税込) 60分:7,700円(税込)

がんサロン

電話番号	0274-22-3311 (代表)	
交流会名	なごみ	つながり(ピアサポーター) [R8.4.1から新規]
対象疾患	がん全般	
開催日時	毎月第2火曜日 10:00~11:30 (R8.3.31まで) 10:30~11:30 (R8.4.1から)	毎月第3金曜日 10:30~11:30 (R8.4.1から)
活動内容	院内外のがん患者さんやご家族が抱えている不安や悩み、病気をとおして経験したことなどを語り合い交流できます。お気軽にご参加ください。	

がん相談のご案内

がんになると、医療・療養・生活面等で様々な疑問、悩み、不安が生じてきます。相談内容に応じて各認定看護師や、がん専門相談員が皆様のお話を伺い、様々な情報を提供し、解決に向けての道筋を共に考えていきます。

ご相談は無料です。気軽にお声かけください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

病院からのメッセージ

健診から診断・治療・緩和ケアまで幅広く対応しています。

企業長 佐藤 尚文

相談支援センター

電話番号	0274-63-2111 (内線2180)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0274-63-2111 (内線2180)
受付時間	平日:8:30~17:00
費用	60分以内:11,000円 (税込)

がんサロン

電話番号	0274-63-2111 (内線2180)
交流会名	お話しませんか
対象疾患	がん全般
開催日時	5・7・9・11・2月第4木曜日:13:30~15:00
活動内容	同じ病気をもっている方々でお話ししてみませんか? お気軽にご参加ください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

伊勢崎市民病院

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

ロボット支援手術などの低侵襲で最適な治療を行います。

院長 小林 裕幸

相談支援センター

電話番号	0270-25-5022 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	医療ソーシャルワーカー・がん関連認定看護師

セカンドオピニオン

電話番号	0270-25-5022 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
費用	30分程度:5,500円 (税込)

がんサロン

電話番号	0270-25-5022 (代表)
交流会名	がん哲学外来なごみカフェ
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第4火曜日:14:00~15:30
活動内容	がん哲学外来なごみカフェは、お茶を飲みながら、ゆったりした雰囲気、患者さんや、ご家族や医療者が対話する場です。お気軽にご参加ください。



ロボット支援下手術等の低侵襲で最適な治療から、緩和ケアまで幅広く対応しています。

当病院は、ロボット支援下手術等の低侵襲で最適な治療から、緩和ケアまで幅広く対応しています。相談支援センターでは、がんに関する不安や悩みを伺い、問題解決へ向けてお手伝いさせていただきます。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



桐生厚生総合病院

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

院長 加藤 広行

相談支援センター

電話番号	0277-44-7165 (直通)
受付時間	平日:9:00~17:00
担当	がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師・社会福祉士・臨床心理士

セカンドオピニオン

電話番号	0277-44-7150 (直通)
受付時間	平日:8:45~17:30
費用	1回30分以内:無料

がんサロン

電話番号	0277-44-7165 (直通)
交流会名	サロンあおぞら
対象疾患	がん全般
開催日時	最新の開催状況はホームページまたはお電話でご確認ください。
活動内容	がん患者さんやご家族が、不安や悩みを共有する場です。 がん種は問いませんので、お気軽にご参加ください。



プライバシーに
配慮した面談室も
あります

相談支援センターは 地域医療連携室内にあります

相談は面談・電話・メール等で受付中
です

(sodan001@kiryuuhp.jp)

ご予約は不要です

がん看護専門看護師や緩和ケア看護師
も対応していますので、どうぞご利用
ください

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



群馬県立がんセンター

地域がん診療連携拠点病院
がんゲノム医療連携病院

病院からのメッセージ

ご自身にとって、最適な治療を選択するお手伝いをします。

院長 柳田 康弘

相談支援センター

電話番号	0276-60-0679 (直通)
受付時間	平日:9:00~17:00
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0276-60-0679 (直通)
受付時間	平日:9:00~16:00 (要予約)
費用	1回:22,000円 (税込)

がんサロン

電話番号	0276-60-0679 (直通) 予約不要
交流会名	がんサロン
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第3木曜日:10:30~11:30 ※院内の感染状況によって中止になる場合があります。中止の場合はHPに掲載します。
活動内容	がん患者さんご本人やご家族が、悩みや体験を語り合うための場所です。がんについての不安や辛さを一人で悩まず、お話ししてみませんか。事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

がん相談支援センター

ひとりで悩まないで、がん相談支援センターへご相談ください



相談員にお声かけください



ハローワークと産業保健センターの
出張相談もあります



1階エスカレーター横の
情報コーナーをご活用ください

ご相談を希望される方はお電話もしくはがん相談支援センターに直接お越しください

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



群馬県済生会前橋病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

当院では、がんに関する様々な悩みや相談に対応する担当部門を設置しています。窓口にてお気軽にお声がけください。

院長 細内 康男

相談支援センター

電話番号	027-252-6011 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	医療ソーシャルワーカー・がん看護専門看護師等

セカンドオピニオン

電話番号	027-252-1751 (直通)
受付時間	平日:8:30~18:00
費用	30分:5,500円(税込) 以降30分につき:5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	027-252-6011 (代表)
交流会名	なでしこ
対象疾患	がん全般(血液のがんも含む)
開催日時	偶数月の第3金曜日:15:00~16:00
活動内容	がん患者さんやご家族同士が、病気のこと、病気以外のことを語り合っ互いに交流できる場、それが「がんサロン「なでしこ」」です。うれしい時、つらい時、不安な時、どんな時でもサロンをご利用ください。心和むサロンを目指して、皆さんをお迎えいたします。



相談支援センター入口

1階 総合窓口横にあります。
相談は無料です。
療養中のお悩みごとはありませんか？
お気軽にお立ち寄りください。

定期的に専門職によるミニレクチャーなども企画しています。
参加者一人ひとりが話しやすい雰囲気大切にしています。
みなさんご参加をお待ちしております。



がんサロン
なでしこ

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



JCHO群馬中央病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

がん患者さんが抱える様々な問題に、寄り添っていきます。

院長 内藤 浩

相談支援センター

電話番号	027-221-8165 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	看護師・がん化学療法看護認定看護師・社会福祉士

セカンドオピニオン

電話番号	027-221-8165 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
費用	30分:11,000円(税込) 以降30分につき:5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	027-221-8165 (代表)
交流会名	かんじゃサロン「こころ」
対象疾患	がん全般
開催日時	奇数月の第2木曜日:13:30~15:00(R8.3.31まで) 奇数月の第2木曜日14:00~15:00(R8.4.1から)
活動内容	かんじゃサロン「こころ」はがん患者さんやご家族、がんピアサポーターさん、医療従事者が集い語り合う場です。事前申し込みは不要です。開催日は当院ホームページにてご確認ください。

かんじゃサロン「こころ」の様子

1階ロビー(入退院センターや休憩コーナー)にパンフレット等を設置しています



誰かに話を聞いてもらいたい。不安や心配事があるけど誰に聞けばいいのかわからないなど、一人で悩まずお気軽にご相談ください。相談希望の方は、1階患者相談窓口がん相談支援センターにお越しいただくか、職員にお声がけください。相談内容に応じてがん専門相談員やメディカルスタッフが対応させていただきます。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

日高病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

ご不安につきましてはいつでもお気軽にご相談ください。

院長 関原 哲夫

相談支援センター

電話番号	027-362-6201
受付時間	平日:9:00~17:00
担当	がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師・がん化学療法認定看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	027-362-6201
受付時間	平日:9:00~17:00
費用	平日30分:5,500円(税込) 60分以上13,200円(税込)

がんサロン

電話番号	027-362-6201
交流会名	ふれあいサロン
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第3水曜日:15:00~16:30
活動内容	院内外の患者様家族が抱えている不安・悩み・療養を経験したことなどを語り合い、相互支援できます。



相談支援センターは病診連携室内にあります。
がんに関する悩みなんでも聞きます。
1人で悩まずお気軽にご相談ください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



原町赤十字病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

皆様の不安を軽減し、かつ皆様の希望が叶えられるよう、チーム全員で対応します。
院長 内田 信之

相談支援センター

電話番号	0279-68-0550 (直通)
受付時間	平日:8:30~15:00 土曜日:8:30~10:30 (第1、3開院日のみ)
担当	がんを担当する看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0279-68-0550 (直通)
受付時間	平日:8:30~16:50 土曜日:8:30~12:30(第2・4・5は除く) 完全予約制
費用	平日30分:5,500円(税込) 以降30分につき:5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	0279-68-0550
交流会名	がんサロン
対象疾患	がん全般
開催日時	随時ホームページにてお知らせいたします https://www.haramachi.jrc.or.jp/ (お知らせ欄にて広報予定)
活動内容	常設の「がん情報コーナー」もございますので、お気軽にお越しください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



利根中央病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

安心と安全、患者さん中心のチーム医療でみなさんの健康回復をお手伝いします。
病院長 関原 正夫

相談支援センター

電話番号	0278-22-4321 (代表)
受付時間	平日:9:00~17:00 土曜日:9:00~12:30
担当	がん看護専門看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0278-22-4321 (代表)
受付時間	平日:9:00~15:00
費用	30分:5,500円(税込) 以降30分につき:5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	0278-22-4321 (代表)
サロン名	でんでんむし
開催日時	月曜~金曜(祝日を除く):9:00~17:00
活動内容	常設のがんサロンです。 がん患者さまとそのご家族は自由にご利用いただけます。 小冊子・書籍の設置、医療用ウィッグなどを展示しています。



病院正面玄関付近にあります総合支援センターに直接お越しください。



お待たせしてしまう場合もありますので、あらかじめ電話にてご連絡ください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



太田記念病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

総合病院なので、高齢者や合併症のある患者さんにも各診療科連携して対応しています。
院長 有野 浩司

相談支援センター

電話番号	0276-55-2200 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00 土曜日:8:30~12:15 (第2、第4土曜日以外)
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0276-55-2200 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00 土曜日:8:30~12:15 (第2、第4土曜日以外)
費用	30分:7,700円(税込) 60分:11,000円(税込)

がんサロン

電話番号	0276-55-2200
交流会名	はなみずきの会
対象疾患	乳がん
開催日時	5月・9月・1月 第3土曜日:14:00~15:30 (変更となる場合がありますので、事前に病院ホームページでご確認ください。) ※要申込:院内設置の申込用紙もしくは電話にて。
活動内容	同じ病気を経験した患者様やご家族同士で、日頃の悩みや不安、疑問を語り合う交流の場を提供します。皆様のご参加をお待ちしております。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



公立館林厚生病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

がんの不安は一人で悩まず、お気軽に病院職員にご相談ください。

病院長 松本 正弘

相談支援センター

電話番号	0276-72-3140 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0276-72-3140 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00
費用	30分:7,700円(税込) 60分:11,000円(税込)

がんサロン

電話番号	0276-72-3140 (代表)
交流会名	おしゃべりの会
対象疾患	がん全般
開催日時	月1回 毎月第3木曜日 ホームページ・院内掲示板上に掲載
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・がんと診断された方、治療中の方やそのご家族、ご親戚、ご友人の皆さま、みんなで体験談や悩み事を話し合う場を提供しています。 ・勉強会の開催

おしゃべりの会

がんと診断された方、治療中の方やそのご家族、ご親戚、ご友人の皆様、みんなで体験談や悩み事などを、気軽におしゃべりしてみませんか？



化学療法室



がんに関する専門外来のご案内

- 化学療法室
- ストーマ外来 毎週月・金曜日 9:00~16:00(予約制)
- かんわチームによるがん相談



がんに関する認定看護師が対応させていただきます。
十分な時間をご用意させていただくため、事前にお電話などで希望日時をお知らせください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



群馬県立小児医療センター

小児がん連携病院

病院からのメッセージ

小児がんは約8割が治るようになりました。是非、ご相談ください。

院長 浜島 昭人

相談支援センター

担当部署	地域医療連携室
電話番号	0279-52-3551 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0279-52-3551 (代表)
受付時間	平日:9:00~17:00
費用	45分:22,000円(税込)

※当センターでは、小児がんを集学的治療することによって最大限の治療成果が得られる専門医療を行っています。

個々の症例については、小児内科医（血液腫瘍科）、各外科医師、放射線科医師、病理診断医、また、必要な時は院外から医師を招いてカンファレンスを実施することにより高度な医療が提供できるように努力しています。

また、国内（一部は海外）で実施されているほとんどの小児白血病、小児がんの多施設共同研究にも参加し、標準的治療のみではなく、より高度な治療の開発にも参加しています。

※当院は、一般医療機関では対応が困難な特殊又は専門的な医療を提供する専門病院です。紹介状なしの受診は原則的にできませんのでご了承ください。受診を希望される方は、通院又は入院している病院等の医師などに相談し、紹介状をお受け取りください。

病院間で初診日の予約をいたしますので、日時を確認しご来院ください。

※来院される際は、必ず紹介状をお持ちください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

アピランス(外見の変化)ケアに関するリーフレット

入手方法 以下のホームページからダウンロードできます。

【横浜市ホームページ】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryu-fukushi/kenko-iryu/iryu/gan/taisaku/appearance.html>



このリーフレットは横浜市、横浜市内でアピランスケアに取り組む医療者、国立がん研究センター中央病院が協力して作成されました。

特に患者が悩むことの多い4か所「**髪、爪、肌、眉毛・まつ毛**」のケア方法について、医療者の立場からのアドバイスが載っています。また、ウィッグの探し方や選び方が載っています。



頭頸部の手術をすることで、**顔や首に大きく傷が残るといわれた場合の心がまえ、傷や変形への対処方法**等を記載しています。また、**乳がんの手術直後の見た目の整え方**等を記載し、パッドの種類や選び方を簡単に解説しています。



アピランスケアについては、各病院の相談支援センターでもご相談いただけます



Q1

医師に質問したくても、緊張しているせいか、うまくできません。どうしたらうまくできますか。



A1

医師を前にすると緊張してしまう経験は多くの方にあるのではないのでしょうか。さまざまな理由が考えられますので、ひとつずつ考えていきます。

緊張して質問を忘れてしまい聞くことができないという場合には、あらかじめ質問したいことをメモしておき、診察のときを持っていくという方法があります。メモを見ながら質問しても構いません。質問がたくさんあるときには、聞きたい順に書いておくこと重要なことから質問できます。

医師が忙しそうだから質問できないという方もいるでしょう。たしかに医師は、たくさんの患者さんを担当して忙しいと思います。しかし、患者さんに身体と治療のことを理解してもらった上で治療を受けて欲しいと思っていますから、質問を大切にしているはずですよ。遠慮せずに質問してみてください。それでも気おくれしてしまうという場合には、ご家族と一緒に診察室に入るといいかもしれません。ご家族が横にいれば、質問しやすくなるのではないのでしょうか。患者さんの代わりに、ご家族から質問してもらうこともできます。

質問すると医師の気を悪くしてしまうのではないかと心配している場合には、質問する前に、「お忙しいのにすみません。質問したいのですが、お時間よろしいですか？」などと伝えてみてはいかがでしょうか。医師は質問を受ける心づもりができますし、忙しくてどうしても時間がない場合には、事情を説明してくれるでしょう。

その他、お困りのことがありましたら、各病院に設置されている相談窓口を訪ねてみてください。担当者が状況を聞きながら、一緒に考えてくれます。お気軽にご利用ください。



Q2

医療費が支払えるか心配です。何か良い方法がありますか。



A2

一度に高額な医療費を支払うことが難しい方や、高額療養費の還付（支払いから通常3～4か月後）まで待つことが難しい方には、「限度額適用認定証」や「高額療養費貸付(委任払) 制度」を利用できる場合があります。

「限度額適用認定証」とは、事前に申請すると、窓口での支払い額を自己負担限度額までに抑えられるものです。加入している保険者(協会けんぽ、国民健康保険等)に申請すると交付されます。なお、入院中の食事代、差額ベッド代、先進医療などの保険適用外のものはありません。治療が始まる前に申請しましょう。

「高額療養費貸付(委任払) 制度」とは、高額療養費が支給されるまでの間、無利子の貸付を行う制度のことです。高額療養費は同一月に支払った医療費が、一定の自己負担限度額を超えた場合に本人の申請により支給されますが、審査と決定に約3か月かかります。そのため、当座の医療費の支払いに充てる資金として、高額療養費支給見込額の8割相当額を無利子で貸し付けるものです。制度の有無や詳細は、加入している保険者へお問い合わせください。

その他の制度を3つご紹介します。

「傷病手当金」は、健康保険の加入者が病気や怪我のために会社を休み、事業主(会社等)から給与を受けられない場合に支給されるものです。加入先の保険者へお問い合わせください。なお、国民健康保険の方は制度がありません。

「障害年金」は、公的年金に加入している65才未満の方が、病気やけがにより、初診日から1年6か月が経過した時点で、一定の障害状態になり日常生活や就労に支障が出たときに支給されるものです。お近くの年金事務所へお問い合わせください。

「身体障害者手帳」は、疾病によって身体に障害が残った方(人工肛門の造設等)が、日常生活や仕事に著しい制限を受ける状態になった場合に、市町村窓口で申請すると、等級により助成や支援を受けられるものです。お住まいの市町村へお問い合わせください。

お金・生活のサポート制度については69ページ～75ページをご覧ください。

4 がんの治療と仕事の両立を支援します

さんぽセンターでの治療と仕事の両立支援について

群馬産業保健総合支援センター

お手伝いします！治療と仕事の両立

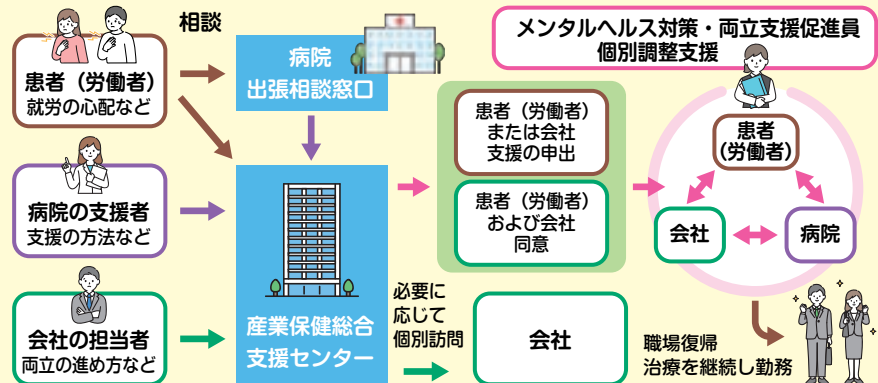
～次の様なお悩みや心配事、ご相談ください～

治療をしながら働きたい…！
会社にどう相談したらよいだろう？
利用できる支援制度にはどんなものが？

病気になった社員にどんな対応をすれば？
医療機関に意見を聞くにはどうすれば？
社内の両立支援制度を整える方法は？

対象者	患者（労働者）、事業主、人事労務担当者		
支援者	群馬産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策・両立支援促進員（社会保険労務士・保健師等）		
相談方法	電話・メール・面談		
相談場所	病院の出張相談窓口・会社・群馬産業保健総合支援センター *R7.10現在		
	【定期窓口】	群馬県立がんセンター 毎月第2月曜日・第4水曜日 群馬大学医学部附属病院 毎月第2水曜日・第4水曜日 高崎総合医療センター 毎月第2水曜日・第4水曜日 前橋赤十字病院 毎月第3木曜日 たてばやし心療クリニック 毎月第4木曜日 桐生厚生総合病院 毎月第1火曜日	【随時窓口】 日高病院
費用	無料		

群馬産業保健総合支援センターにおける治療と仕事の両立支援の流れ



～お気軽にご相談ください！～



独立行政法人労働者健康安全機構

群馬産業保健総合支援センター

〒371-0022
前橋市千代田町1-7-4（群馬メディカルセンター2階）
TEL:027-233-0026 FAX:027-233-9966
e-mail:info@gunmas.johas.go.jp
HP:https://www.gunmas.johas.go.jp

ハローワークでの治療と仕事の両立支援について

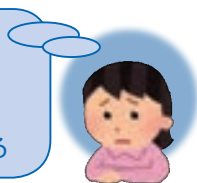
群馬労働局

病気とつきあいながら働いてみませんか

～ハローワークによる長期療養者への就職支援～

◆お仕事でこのようなお悩みはありませんか？

- ・通院の必要はあるが働きたい
- ・自分の病状・体力にあった仕事を見つけたい
- ・治療と仕事の両立について教えてほしい
- ・就職活動で、企業に病気のことを伝えるべきか迷っている



ハローワークの相談員と一緒に、不安を解消していきましょう

- ◆病状や治療状況に合わせたお仕事のご提案をします
- ◆応募書類の作成や、面接の受け方についてアドバイスします
- ◆職業訓練や就職支援セミナーなどをご紹介します
- ◆退職した場合の雇用保険の手続きもご案内します
- ◆まだ就職の準備ができていない場合でも、就労に関する考えの整理等の相談にも応じています

在職中の方も相談できます



ハローワーク前橋とハローワーク太田では、専門の就職支援担当者（就職支援ナビゲーター）がおり、長期療養者へマンツーマンで支援しています。前橋、太田地域以外の方も、お住まいの地域のハローワークと連携して支援しています。これまでのご経験や適性、病状や治療状況などに合わせたお仕事の紹介などの支援を行っていますので、お気軽にご相談ください。

《医療機関での出張相談》

県内の連携協定を結んだ医療機関において出張相談を行っています。

〔連携先医療機関〕群馬県立がんセンター、群馬大学医学部附属病院、桐生厚生総合病院



【長期療養者就職支援の主な流れ】

① プレ相談（初回相談）

医療機関での出張相談
（ハローワークでも可）

② 求職申込み
（お仕事探しの登録）

ハローワーク（医療機関での出張相談も可）

③ 就職支援開始

ハローワーク（医療機関での出張相談も可）

お気軽にお電話ください（担当者が不在の場合もありますので、まずはご連絡をお願いします）

ハローワーク太田 〒373-0851 太田市飯田町893 TEL:0276-46-8609（部門コード 32#）

ハローワーク前橋 〒379-2154 前橋市天川大島町130-1 TEL:027-290-2111（部門コード 42#）

がん相談支援センターでの治療と仕事の両立支援について

前橋赤十字病院 ソーシャルワーカー 吉井 郁美

※前橋赤十字病院の相談支援センターの詳細は、16ページをご覧ください

がんと診断されると、病気のことだけではなく、仕事のことにも心配になるものです。

2020年の厚生労働省の調査によるとがんと診断されても、仕事をもちながら通院している人は約44.8万人で、2016年の同調査と比べ、8万人増えています。しかし、その一方で診断後に4%の人が解雇され、約30%の人が依願退職しているという統計も（がん対策推進企業アクション）あります。

このような状況の中、生きがいや生活基盤の安定のために、仕事を続けながら治療と両立していくことが求められています。そして支援を受けて仕事を辞めなくても治療を続けられることも多くあります。

- ・仕事が続けられるだろうか？
- ・治療のために仕事が休めるのだろうか？
- ・治療に合わせた働き方ができるだろうか？
- ・上司や同僚に、病名や病状について、どのように伝えたらよいだろうか
- ・仕事を休み収入が減少した場合に利用できる制度について知りたい
- ・仕事を辞めたら医療費はどうなるのか
- ・他の患者さんはどうしているか など

そのような時には、がん相談支援センター（前掲がん診療連携拠点病院等に設置）にご相談下さい。専門の相談員（ソーシャルワーカー、看護師など）が、ご相談に応じます。

がん相談支援センターでは、患者さんの状況や思いをお聴きし、ご希望や必要に応じて主治医や職場の関係者と調整し、治療と仕事が両立できるよう支援していますので是非ご相談ください。

参考情報

(表)



「群馬県小児・AYA世代のがん患者等妊孕性温存療法等助成事業」の手続きについてはP.98をご覧ください。

(裏)



AYA世代のがん治療と子どもを持つこと

群馬県立がんセンター 院長 柳田 康弘

がんの診断を受けて、これから治療を始める方へ

不安な日々を過ごされ、人生の様々なことを考えていることと思います。また、がんを治すためには、いくつかの人生の犠牲は仕方ないと思われるかもしれませんが。

皆さんの中には、将来自分の子どもを持ちたいと考えている方や、今は考えられないけれど、もしかしたら将来的にそう思うかもしれないという方がいらっしゃると思います。

今、ここでちょっとだけ考えてみてください。

これから行う全身化学療法や卵巣・精巣に対する手術や放射線治療によって、自分の子どもを持てる可能性が永久に失われてしまうことがあります。またホルモン療法であっても、治療期間中は妊娠できませんので、その期間分だけ年齢を重ねることになります。

以前は、「がんの治療が優先なのだから仕方ない」と片付けられて来ました。しかし現在は、女性の方なら受精卵凍結・卵子凍結・卵巣組織凍結という方法で、男性では精液凍結保存という方法で、治療後に自分の子どもを持つ可能性を残すことができます。また、これらの妊孕性温存療法に対して、43歳未満の方を対象に、厚生労働省から助成金が出るようになりました。

最近では多くのがん治療施設で、妊娠可能年齢の患者さんに、「将来に子どもを持ちたいか？」をたずねるようになってきています。しかしながら、治療の準備や説明に追われ、医療者側からおたずねすることが抜けてしまうことがあります。

そんな時は皆さんから遠慮なく、「妊娠できる可能性を残す方法があるって聞いたんですけど?」とか、「このがんの治療を受けると子どもを持つ事はあきらめなくちゃいけないですか?」と主治医にたずねてください。

私たち医療者は、がんの診断がついて治療が始まるまでのあまり長くない期間に、妊娠する可能性を残す方法を提供できます。そのために「群馬県がんと生殖医療ネットワーク」と言う組織をがん治療医と生殖医療医で立ち上げています。

結果的に自分の子どもを持つための対策をしないと結論したとしても、一度このことを考えてみてはいかがでしょうか。

「群馬県がんと生殖医療ネットワーク」

<https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/626553.html>

妊よう性温存療法について

第2章

群馬大学大学院 医学系研究科産科婦人科学 教授 岩瀬 明

妊よう性温存療法とは、将来、妊娠・出産できる可能性を残しておくための準備と言い換えることができます。妊娠・出産するためには、女性の場合、卵巣に卵子があること、妊娠・分娩を可能にする子宮があること、男性の場合、精巣に精子があること、が必要になります。そして卵子と精子が受精して生じる受精卵（胚と呼ぶこともあります）が、子宮の中で育ち胎児となり、赤ちゃんとして生まれてきます。卵巣・卵子、精子、受精卵は凍結保存することが可能となっており、抗がん剤や手術などの影響による卵巣機能および精巣機能の低下に備えておくための手段となります。

受精卵の凍結は、不妊治療としての体外受精の際にも広く行われている方法です。受精卵を得るためには、卵子と精子の両方が必要になるため、カップルで受けていただく治療となります。不妊治療の時と同様に、多くの場合、排卵誘発剤を使用し、複数の卵子を採取します。体外で精子と受精させ、受精卵となったものを液体窒素中で凍結保存しておきます。妊娠が可能になった段階で、凍結した受精卵を融解して子宮内に戻します（胚移植）。

卵子凍結は、卵子を採取するまでは受精卵の時と同じですが、受精させることなく卵子として凍結保存をしておきます。凍結前に精子を必要としないため、女性単独で受けていただける治療になります。妊娠が可能になった段階で、卵子を融解し、相手の男性の精子と受精させた後、胚移植します。

卵巣凍結は、卵巣の全体または一部を凍結保存しておく方法になります。卵巣を取り出す時、凍結保存した卵巣の一部を体内へ戻すときに手術が必要となります。卵巣として保存することにより、卵子凍結より多くの卵子を保存できる、事前に排卵誘発剤を使う必要がないなどの違いがあります。一部の施設でのみ行われていません。

精子凍結では、射精された精子を凍結保存しておきます。

2022年4月から不妊症に対する体外受精などの生殖補助医療が保険診療となりました。同様の治療であっても、妊よう性温存療法として実施される場合は、自費診療となります。どの治療を受けることができるのかについては、費用を含め各施設の担当医と十分相談の上、お決めいただく必要があります。自費診療として実施された妊よう性温存療法については、助成事業の対象となる場合があります。詳しくは群馬県がん対策ホームページ「群馬県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性（妊ようせい）温存療法助成事業」をご確認ください。

群馬大学医学部産科婦人科学教室

<https://gunma-obgyn.jp/information/to-patient/1800/>

助成事業については、98ページをご覧ください。